

ドランの「パンタグリユエル」と新収蔵品展

Prints of "Pantagruel" by Derain and New Acquisition

会 期：2008年5月31日（土）～ 8月31日（日）
開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：月曜日（ただし7月21日は開館）、7月22日（火）
観覧料：一般250（150）円、20歳未満・学生150（100）円
*（ ）内は20名以上の団体料金です。
65歳以上の方、高校生以下の方、障害者の方は無料です。

会 場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1 tel:0467-22-7718

主催：神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館では、別館を会場として、「ドランの《パンタグリユエル》と新収蔵作品展」を開催します。

アンドレ・ドラン（1880-1954）は、フランス近代絵画の巨匠として知られている画家です。ブラマンクやマティスらと1905年ころからフォーヴィスム（野獣派）という原色を積極的に用いて、それまでの写実を基本とする絵画表現に変革をもたらす前衛的な絵画運動を先導した画家として、今日に至るまで高く評価されています。フォーヴィスムの画家として有名なドランですが、1920年代に入るとプサンなどの古典に傾倒し、古典主義的な画風に移行し、また、ロシア・バレエの舞台装飾も手がけ、幅広い制作活動を展開します。そして、1943年には、フランス・ルネサンスの作家フランソワ・ラブレーの物語『パンタグリユエル』のための挿絵を木版で制作しました。ラブレーのおとぎ噺のような世界が、トランプやタロットなどから影響を受けたと思われる一版多色刷による極めて美しい木版画によって彩られています。

ドランの木版画30数点のほか、同じ『ガルガンチュア』物語のアントニ・クラベ（1913-2005）のリトグラフによる挿絵も展示するとともに、さらに、近年収集された新収蔵作品もあわせて紹介いたします。

- 担当学芸員によるギャラリートーク
日時：2008年6月14日（土）、7月26日（土）
各回とも午後2時より

参加無料

※別途、展覧会の観覧券は購入願います
（65歳以上の方、高校生以下の方、障害者の方の観覧料は無料です）

予約申込み不要（当日、2階展示室入口にお集まりください）

[写真データの貸し出しについて]

- 展覧会ご紹介用の図版は、下記の2点を用意しております。
これらの画像は、すべて300dpiでプリントサイズが長辺7cm程度のJPEGデータをご用意しております。
 - コピーライトが表記されている図版の掲載には著作権申請が必要となります。データ送付時に連絡先と必要書類をご案内いたします。また、インターネットでのご使用はすべて有料です。なお、作品画像の掲載に当たっては、著作権使用料が請求され、著作権管理団体に色校正を提出する必要があります。詳細は下記へお問合せ下さい。
- 【有限責任中間法人 美術著作権協会
tel. 03-5524-2252 fax. 03-5524-2253】
- 図版キャプションは、作家名・作品名・制作年・所蔵・コピーライトの表記が必須項目です。
 - 掲載物を一部ご送付くださいますようお願い致します。



アンドレ・ドラン
「パンタグリユエル挿絵集」パンタグリユエル
André Derain *Pantagruel*
1943 ©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2008



アンドレ・ドラン
「パンタグリユエル挿絵集」ル・ペルチエイ
André Derain *Le Pertuis*
1943 ©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2008